

戦 評 用 紙

平成 27 年度 埼玉県高等学校バスケットボール新人大会

平成 28 年 1 月 17 日

会 場 上尾運動公園体育館

Cコート第1試合

対 戦	昌平 高校	15	—	24	埼玉栄 高校
		57	16	—	12 72
			11	—	19
			15	—	17

第1P 立ち上がり両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。埼玉栄#4の3Pでゲームが動き出す。一方の昌平は#8のシュートや#5の3Pで応戦。高さに勝る埼玉栄はインサイドでの#6のシュートやリバンドからの#4のシュートなどで得点を重ね、優位に試合を進める。残り4分、5対13と埼玉栄リードの場面で、昌平はタイムアウト。昌平は#5や#6のシュートで得点を重ねるが埼玉栄も#5の3Pや#8、#6のシュートで得点を重ね、埼玉栄優位のゲーム展開は変わらず、15対24と埼玉栄がリードを保ち終了。

第2P 昌平#15のシュートで先制。埼玉栄も#14や#5のシュートで応戦。残り5分19対30埼玉栄がリードを広げた場面で昌平はタイムアウト。ターンオーバーから昌平#6がシュートを決めると流れが昌平に傾く。26対34と昌平が追いつけたところで今度は埼玉栄がタイムアウト。しかし、流れは変わらない。それでも、31対36と埼玉栄がわずかにリードを保ち、前半終了。

第3P 昌平#5のシュートで後半戦スタート。その後も#5がシュートを決め、ついに1点差と昌平が詰め寄るが、埼玉栄は慌てることなく#5や#4がシュートを決め、再び5点差となり、ここで昌平はタイムアウト。しかし、埼玉栄は高さを生かし、#6夜#5がインサイドで得点を重ねる。たまたらず昌平は二度目のタイムアウト。しかし埼玉栄に傾いた流れは変わらず、42対55と埼玉栄がリードを広げこのピリオドを終える。

第4P 埼玉栄の#8がシュートを決めると昌平も#7が3Pを決め応戦。その後も昌平は#5の3Pなどアウトサイドでの攻撃で必死の反撃を見せるが、高さに勝り、リバンドを制した埼玉栄が57対72で勝利し、決勝リーグでの2勝目を手に入れた。

(記録者： 八潮 高校 荒井 浩)